#### 当んなで選んだ 今月の秀句

を連載します (11頁)。

「災難畫

信

緊急事 聞 ガ く力 ッと掘られザアーと海 態今日も ボスらの 明日もで不感症 戸を聞 に沈む きま Ĭ た

白

眞

弓

災難畫信展」が開二記念館がある。 だっ 閉鎖されていた。 金沢 たが、  $\sigma$ 郊外、

の命日でもある。 月1日は竹下夢二

#### 再び

上げます。 さて8年前(大正12 関東にお住まいの方にはお見舞い申 ) に発生した関東大

蔓延防止対策で が開かれる予定 湯涌温泉に夢 奇しくも9 東京

先日

は沖縄の恨みが籠る。全国から非難決議。 「私には聞く力がある」と 事態の中で強行された総裁選。

寺 遠 内 田 亀 公

編集後記を兼ねて

言論人・桐生悠々

12

16

# 定例会2021年9月28日 (木)

和

川

柳社

9

月会報

No.

7

0 8

関

東

一带

で震度5強の

地震が発生し

ぎ

#### 徹 は派閥ボスから聞く力だと人事で証明した。(周) 乗

戦争前夜抄《32

10月例会 投稿締切

自由吟 課題「風 自選句、 自解筆もよろしく。

10月28日 (本) 3句以内 25日(月 5句以内

10月の例会も誌上です。

ほのぼの川 おたより 川柳互選 自由吟 目 次

柳

6

・課題吟

「感」……

3

連載 川柳連作《川柳ひと言》 連句で意見交換 / 夢二「東京災難畫信

6

11

## 川柳豆選

## 9月の 点の付け方

推薦句◎:2点、 ◎3句以内。○全体の半数以内。 準推薦句○:1点

## 課題吟 「感」(互選)

5 4

政治家に感想聞けば自己保身

命は一

つ何故守られぬのか母親よ

ふさこ

立東爺

徹乗

感動も理に落ちている老い無残

総裁選日本の感覚あの程度

未知子

3	3	3	2	2
一万五千核にもしやはないですか	感覚ボケワクチンだけを追いまわす	老い実感長生きしてね孫レター	性感帯を逆撫でて行く政治ゴロ	アナログ派へ隔世の感のデジタル化
ダン吉	大峰	ひろみ	亀公子	尊柳

収穫を前に感謝の水を撒く 秋口はコロナ養生しています 突然の首相退陣に違和感

人 3句以内吐 |投句15人/16人の互選| 5

1

延延の茶番ドラマに感動は

ダン吉

5 5 無気力感いよいよ来たか自分にも 靖国参拝世界に走る緊張感 左右見て横断歩道ネコに感動 コロナ禍に光を感じる選挙戦

ひろみ ひろみ

薬漬けわが身の老いを実感す 感動だ聡太三冠十九歳

5

民度です右に倣えのご安心 国会にない総裁選の緊張感

6 6 6

永田町へ根強く残る不信感 連れ合いに感謝感謝の日々送る

誰になっても感動なしの永田町 知識より感性磨け政治家は 百歳に感想聞けば自然体 コロナ感染アベのマスクで救われず

3 3 3 3

子を想う母の感性消えたのか

ふさこ

生んだならしかり生かせよ児の命

ふさこ

マスコミも鈍感競う過剰熱

感情は野党共闘高まるが

未知子

2

北の山

立東爺

徹乗

2 1 1	-	<del></del>	10	10	10	9	9	9	9	9	8	7	7
コップ中 総裁戦アベスガ亜流「嘘つきしんちゃん」 もっとお勉強しましょうね仲間内いつまでやるの総裁選	(投句15人/16人の互選)	- ◆ 自由吟 (互選)	緊急事能今日も明日もで不感症	母の掌の感触のもと誓う非戦	医療者へ感謝静かに手を合わす	コロナ禍の世に感動を置いてきた	自民には自浄不能の感がする	引きずり降ろされても独りよがりの達成感	寡黙だが存在感が隅にいる	感覚はコップの嵐総裁選	五感なお息災である草紅葉	ウイルスも休みたいのよ冬前に	感染の中で撃ち合う水鉄砲
未 知 宏 子 山	<u> </u>	'	亀公子	白真弓	立東爺	尉	一角	感 徹乗	ダン吉	一角	尉	白眞弓	亀公子
4 4 3	3 3	3 3	3 3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
タリバラクス	安国	显 %	<b>4</b> √ <del>1</del>	<b>—</b>	. lea	<i>=</i> ⇒	仁	<u> </u>	湿	210	_	425	1 <del>11</del> ;
<ul><li>・ タリバンの小銃に負けたハイテク兵器 大峰 議事堂に黴など生えていませんか ダン吉</li></ul>	倍マスク付けたままで救われず民も世論もそっぽを向く首相	<ul><li>参力が無かった如きのスルー劇</li><li>一場で選挙で市民野党の共闘を!</li></ul>	栓済主義コロナ失政繰り返す女倍に次ぎ菅も政権放棄する	コロナ専念これから腕の見せ所	おはようとおやすみを繰り返す日々	車波止めると脅した女大健闘	母頭のシール総理が辞めるから	<b> た亡夫の袖にすがるも夢覚める</b>	<u> </u>	ホケ防止今月の〆はそろばんで	八代氏の反共デマゆるせない	窓を撫でいつ出れるかと入居者	懐浜の民意が 示す日本次

5 ならいっそ自民党を解党し 町壊し戦果一人のテロリスト

病んでいる政界よりも国民だ 軸足が民に向けない自民属

老年の来し方昭和遠くなり アフガンに学ぶ気がない核抑止 言うなれば自衛本能曼珠沙華

解散の機会伺うデルタ株 新自由主義に壊れた日本地図 大散財オリパラ三兆円の夢のツケ

5 5 5 5 5 5

5 5

凶状持も混じって組閣粛粛と

ダン吉

安倍菅の傀儡政権負の遺産

ビールついで独りハッピーバースディ

幕が開く亜流仮面でご挨拶

コロナ禍を人災にする無策党

政治家はまず身につける無表情

ふさこ

立東爺

ワクチンは支持者見ながら配分する

欧州に社会民主の風が吹く

小出しして米ワクチン恩に着せ

日本病 政界財界 棄権病

総裁戦首だけ替えても思考変わらず

ふさこ

未知子

4

立東爺 ひろみ

亀公子

立東爺

広助

リンゴ日報廃止に続く血の粛清

未知子

総裁選じわり近づく再稼動

ああ国会デモを尻目にまだ休眠

亀公子

国民の声をブロックする大臣

引っ張りあい押し合いだけの総裁戦

ふさこ

六十余年虚像であった夫の座

2円安い給油求めて遠距離へ

米軍機自衛隊基地我が物に

5

5

総理目指し脱原発はトーンダウン

ひろみ

10 9 9 9 9 9 9 9 ガッと掘られザアーと海に沈む骨 戦争も語り継ぎこそ平和の灯 聞く力 ボスらの声を聞きました 断層の上で身を焼くウサギ小屋 この星に生まれたことを問うコロナ 自宅治療六万人棄民かな 総裁選派閥で決めるまつり事 温暖化地球が歪みだしている 気が付けば飲む塗る点すの薬漬 五星紅旗小さな星は引きちぎる 白真弓 亀公子 亀公子 北の山 広助 広助

> 当2109 当 2200 当2401 林

稲垣清也50自現④ 東野 真樹47自現②

## おたより

## ・若林 高さんより

テージへ進むことができました。 くさんの方々の応援をいただきまして、次のス 三月頃から自分の気持ちを伝えて約七カ月、た これからは加賀市を皆んなの為に、安心、幸せ、 (加賀市)

8

官邸に嘘が住みつきまず除霊

8 8

なに問えど同じ羅列の質問戦

ふさこ 白眞弓

立東爺

8 8

新兵器誤爆で住民皆殺し

新首相に見える安倍らの背後霊

パパお帰りドローン殺りくしていても

8

マスク外し腹いっぱいに秋の風

# 参考/加賀市議選挙結果

希望が持てる未来になる様に努めてまいります。

当 2518 上野 清隆47無新①

直史57公現⑤

当 1968 当1701 当1796 当 1942 当2008 若林 荒谷啓一61無新① 林 髙辻伸行55自現⑤ 南出 茂信71自現④ 貞子72自現② 高48無新① 当 1099 当1130 当 1144 当 1152

当 1480 中川敬雄56自現② 当 1253 当 1356 当 1377 林 中谷喜英65自現4 山口忠志6無現5 俊昭72無現⑤

川下 今津和喜夫67自現5 勉74自現5

一色眞一71共新①

辰川志郎72自現③

【現職14人、新人4人当選】

上田朋和41無現③

# ₹ 佐ダン吉さんより

て下さい。 がやっと刊行できました。詳細は次号で紹介させ あかつき川柳会創立20周年記念「川柳句・文集」

# 連句について尉さんと意見交換

#### ▼立東爺

尉さん、連作についてご意見お願いします。

「和」の会報では投句された句を、点数を付けて

味不明になる句が結構ありますね。ぜひ連句につ 下位から順に並べてるので、バラバラになり、意

いてご意見をお願いします。

り、結社全体の根本的な論議になりますよ です。一句独立性との絡みがあり、賛否両論があ 連句について考えているのですが、難しい課題

#### ·立東爺

もしれませんね。ちょうど詩の様になりますね。 連句が新しい表現の形に定着するのも、良いか

## ほのぼの川柳

練習の試合で埼玉旅行だよ 大会が近くて緊張我が子達

> 神田 畄 鯛 鯛

神田 東 爺

秋深し隣もこもるウイルス世 習い事多くて毎日眠たいよ

「独標」(注※)の連句など説得力がありました。 とうびょう (遠田さんがそれに挑戦しているように思います。

普通の詩にするとダラダラとなった様な物語がピ 2、3号前の「独標」に、亡き両親を描いていました。

シッと緊張感が走るように感じました。

連作の説得力とでもいうのでしょうか。新しい川

柳の世界が生まれるるかもしれないなぁ、と。

#### 尉

川柳と俳句は異母兄弟ですから、長い歴史(8頁へ) か。亀公子氏の新規な試みであれば凄いことです。 かつてあるかどうか知らないのですがどうでしょう 俳諧の連句には歴史がありますが、 川柳の連句は

# 柳連作「泥船」 遠田亀公子

Ш

象徴の日の丸掲げ漂流する徴の日の丸掲げ漂流する時権が一等船室占拠する時権が一等船室占拠する時権が一等船室占拠する場別の出官みんな七光りの船の上官みんな七光りの船の上官みんな七光りの船の地域が高い。

泥船の三途の渡し地獄行き船底の闇に船虫生きのびる

亀公子の《 川柳ひと言 》

選ばない場会もあり、また片方が選び片方が選にすると二人とも選ぶ場合もあるしどっちともなかったことを指すのであるが、同じ句を共選なった」と言う。没とは選者に採用してもらえー川柳の大会で選句されなかった句を「没に

て実感すると思う。 よって相当違いがあるのを私達は何かにつけばない場合も出て来る。作品の評価は選者に

私の没句の扱い方は、て実感すると思う。

いし嫌になることもない。

私の没句の扱い方は、まずあっさりと捨れて没句の扱い方は、まずあっさりと捨まり一喜一憂はしない。まだまだ歳はとってで立ち現れて来ることが良くある。だからあで立ち現れて来ることが良くある。だからある。そうすると自分の思想性や心情、なの苦でといる。そうすると自分の思想性や心情、ないし嫌になることもない。まずあっさりと捨れるの没句の扱い方は、まずあっさりと捨れる。

る日々である。やっぱり私は私なんだなあと句を見て痛感すか、どう評価するだろうか」と思う。でも、る。常に「今の鶴彬だったらどう読むだろうる。常に「今の鶴彬だったらどう読むだろう

にはあるかも知れないですね。

の封筒に載せてますが、あの6句はまさに連作。「侵 鶴彬の最後に残された6句がありますね。「和」

常々思って来ました。 略」と題をつけたら見事な課題連作ではないか、と

られる」

ります。 「興奮剤を射たれた羽叩きでしゃもは決闘におく

また、「しゃもの国奇譚」という7句の連作があ

の守り札」など計7句 「稼ぎ手、 をんどりを死なしてはならぬめんどり

これなど、課題連作として作られています。

五・七・五では描ききれない世界を実験していま

す。評価には賛否両論ですけど、私には狂歌と川柳 の融合のように感じました。新しい模索をしている んでしょうね。鶴彬が逮捕された1937年に詠ま

れた句です。

ご紹介いただけませんか。論議の資料になるでしょう。 鶴彬の連作は知りませんでした。 出来れば全作を

▼立東爺

「しゃもの国奇譚」を送ります。

「興奮剤を射たれた羽叩きでしゃもは決闘におく

られる」

「稼ぎ手、 をんどりを死なしてはならぬめんどり

の守り札」

「賭けられた銀貨を知らぬしゃもの眼に格闘の相

手ばかり」

「格闘のしぶきにまみれ賭けふやされた銀貨うづ

「しゃもの国万歳とたおされた屍を蝿がむしってい

る

「をんどりみんな骨壷となり無精卵ばかり生むめ

「をんどりのいない街へ貞操捨て売りに出てあぶれ

んどり」

ではよろしく。



「独標」40 周年号 2021 年 1 月 1 日発行

(注※) 詩誌「独標」は1979年10月創刊され(注※) 詩誌「独標」は1979年10月創刊されていた「詩人会議かなざわ」の機関誌で、41年の歴史に立って詩運動を詩人会議の目的に賛同し結成さに立って詩運動を詩人会議の目的に賛同し結成されたグループ」と規約前文に書かれています。

公子さんの川柳連作を紹介します。 筆名は喜多 「連作」を考える参考に「独標」に掲載された亀 盂蘭盆え墓前に並ぶワンカップ 病床の父から失せた頑固の火 書き留めの候文に父を見た 地雷原を歩いた父のげんこつ語 軍靴より呑めば唸った浪花節 ノミシラミ土産持参の帰還兵 コーリャンを軍靴で踏んで来て無口

### 父を想う

Ш

柳連作

- ″ 走馬!

灯

挙止不動写真の父は不老不死出征の軍服に児は泣き止まず犬死の踏み絵踏みつけ出征す

### 母を想う

母危篤荒い呼吸の前に立つ糸屑を拾うむかしの母の影新婦から国防婦人のタスキ掛け有無垢が防空頭巾とモンペの日

喜多村 貢

遺品整理こころは鬼になりきれず延命処置断った手が泣いている通夜葬儀バックに母の生きた曲通でが選断った手が泣いている

# ↓ 喜多村さんのコメント

一周忌コロナが母を遠ざける

倒骨折入院した途端にガラッと様相が一変し

(2021年1月1日)

た。見る見るうちに体力が落ち、それにつれて気力た。見る見るうちに体力が落ち、それにつれて気力



# 東京災難畫信 竹下 夢

化した。 範都市と見えた銀座街が、今日は一望数里の焦土と ピックルの足取りで歩いてゐた、所謂大正文化の模 の手を取って、ダンシングホールへと、ヂャック・ 昨日まで、新時代の伊達男が、所謂文化婦人の左

化學も、宗教も、政治も暫く呆然としたやうに見はっきりと感じられない。自分の頭が首の上に着いてゐることさへ、まだ

えたに無理はなかった。

ただ慌しく黙々として歩いてゆく。おそらく彼等自老婆をのせた子、何處から何處へゆくのか知らない。路行く人は裸軆の上に、僅かに一枚の布を纏った。路行く人は裸軆の上に、僅かに一枚の布を纏った人、爛れた鍋をさげた女、子供を背負った母、黙々として、ただ左側をそろそろと歩いてゆく。命だけとして、ただ左側をそろそろと歩いてゆく。命だけとして、ただ左側をそろそろと歩いてゆく。自然は文化大自然の意図を誰が知ってゐたらう。自然は文化大自然の意図を誰が知ってゐたらう。自然は文化



戦争前夜の竹下夢二は昨年の会報9月号~11月号参照委都 新 聞 一 大正十二年九月十四日 金曜日

何處へゆけば好いのか知らないであらう。



## 9月10日は 言論人· 桐生悠々の命日

子をよみなさい」の啓示を受け、2500年前の戦国 の中国に生きた墨子を探ってきた。 前回、半藤一利さんの日本人への遺言ともいえる「墨

よりも舌一枚の弁士であった。主な手段は、博学的知 ではその弁士たちを説客と言う。 識と技術で大国を説得する力、 防衛の闘いもいとわなかった思想集団、 「兼愛・非攻」なる思想で侵略戦争を否定し、 言葉の力である。 墨家。 槍一本 専守 中国

ジャーナリストの姿に近いのではないか。 か、と考えてきた。現代の目で見ると、政治家や報道、 説客・墨子を現代の世でどうイメージすればいいの

ばなく

> 伝紙に成り下がり国民を戦争へ駆り立てた。 そんな翼賛一色のなかに気骨のジャーナリストがい

かの戦争前夜を振り返ると、

報道は政府

軍部の宣

日の新聞の姿を振り返り「自問自答」を書いている。 (中日新聞) 桐生は八十年前、九月十日に亡くなった。 金沢出身の桐生悠々である。 が前日にあたる九日の社説に紹介して、 東京新聞

東京新聞 (中日新聞) の社説より

桐 生悠々を偲んで

新聞 の存在理由を問 ゙ゔ゙ 2021年 9月9日

行する中日新聞社の前身の一つ「新愛知新聞」や、長 時代にも通じる教訓を読取ます。 判の矛先を向け、奮起を促し続けた悠々を偲び、今の ある主筆を務めた言論人です。 野県の「信濃毎日新聞」などで編集、 壊滅的な戦争へと向かう時代、 古巣の新聞界にも批 悠々は、 論説の総責任者で 本誌を発

勢は、今も私たち新聞記者のお手本であり続けます。 軍部の横暴を筆鋒鋭く批判し続けました。その報道姿 明治から大正、戦前期の昭和まで、藩閥政治家や官僚、



時代の一九三三 演習を嗤う」が、 論「関東防空大 月十一日付の評 (昭和八) 年八

悠

々は

信 毎

ただ、この号は発行に至りませんでした。原稿を活字

軍部の怒りや在

に組み込んだものの、病状が悪化して、校正作業をする れているのが「科学的新聞記者」という記事です。 八日、友人や読者に「他山の石」廃刊の辞を発送し、 ための「校正刷り」段階にとどまったためです。悠々は 日に息を引き取ります。六十八歳でした。 悠々の「遺言」とも言える最後の九月五日号に掲載さ

時平の政府の反射鏡たらんとしている。輿論を代表せず 心得ている は矛盾極まる統制の名の下に、これを彼等の職域奉公と して、政府の提灯をもっているだけである。そして彼等 《この頃の新聞に至っては、 …全然社会を無視して、

は已むを得ずなおこれを購読しつつある。…今日のだら しない状態である。 ほかに代わってその機能を果たすものなきが故に、彼等 て人はこれを無くものがなのものとしているけれども、 〈今日の新聞は全然その存在理由を失いつつある。従っ

まい》《神秘主義を尊奉するに至っては、その存在理由 い)て、全くその態度を一変しても、決して早くはある 、将来の新聞は科学的でなくはならない。 現在に於(お

# 政府の提灯持ちと批判

郷軍人会の不買運動を招いて、信毎を追われます。

して紹介します。

に戻った悠々は個人誌「他山の石」の発行で糊口をし のぎます。 新愛知時代に住んでいた守山町(現名古屋市守山区) 軍部や権力への旺盛な批判がやむことは なく、 同誌

悠々ががん 直前の四 で亡くなる の発行 同十六

年まで続き

しつつあるではないか》
ころを聞け、彼等は殆んど挙げて今日の新聞紙を無用視とから、失わんとしつつある。試みに街頭に出て、民衆の言うとを失うのは明である。見よ、彼等は既にその存在理由を

国家総動員で日米開戦に向かう時代です。軍部が政治の実権を握り、すでに日中戦争に突入し、

のか…。

悠々が亡くなったのは日米開戦の三ヶ月前でした。「

他

わねばならないこと」だったはずです。
それは、悠々にとって「言いたいこと」ではなく「言に、書き残しておかねばならないと考えたのでしょう。制や戦争協力に甘んじる新聞や記者の現状を憂い、最後制や戦争協力に甘んじる新聞や記者の現状を憂い、最後

## 今の時代に通じる警鐘

私たちが暮らしている今の日本は当時と違い、憲法

を 嗤う ポンポン 望月衣塑子 著者 は 作部長。 道制作局次長兼報道制 の大賞に選ばれる 衆ジャーナリズム賞 むのたけじ地域 北陸朝日放送の  $\bar{o}$ 黒 番組は第 崎 正 己さん 1

新聞は本当に求められているか。存在理由はどこにあるいるか。政府の言い分を垂れ流し、報道を規制されてもいるか。政府の言い分を垂れ流し、報道を規制されてもがるが。政府の言い分を垂れ流し、報道を規制されてもで言論、報道の自由が保障されています。しかし、悠々で言論、報道の自由が保障されています。しかし、悠々

想しています。とは如何にも残念至極に御座候」と、戦後の軍縮をも予後の一大軍縮を見ることなくして早くもこの世を去るこ山の石」廃刊の辞では「唯(ただ)小生が理想したる戦

時代を過ごします。 棄、戦力不保持の平和憲法に結実し、日本は戦争の亡い 悠々が理想とした一大軍縮は、日本では戦後、戦争放

て骨抜きにされるのは歴史の教訓です。メディアが声を上げ続けなければ、平和主義は一瞬にし認に転じました。防衛費の増額も続きます。新聞などの深無団的自衛権の行使」は、安倍晋三前政権によって容しかし、平和憲法の下、歴代内閣が憲法違反いてきた

桐

空撃されたものの負である」とした。

7

どを転々としたのち、 秋声と親交を深める。1895 年(明治28年)に東京法科 士の三男。 う私たちにも自問自答を迫ります。 悠々が最後に書き残した一節は、没後八十年の新聞を担 《今日の新聞は全然その存在理由をうしないつつある》。 大学政治学科(現在の東大法学部)に入学。 て、進むべき方向を示す「極北の星」のような存在です。 桐生悠々という人 東京府の官吏、保険会社、 本名は政次(まさじ) 金沢生まれ。貧し 生涯言論人であり続けた悠々は私たちの新聞にとっ 抵抗の新聞人 桐生悠々 旧制第四高等学校で小学校以来の (東京新聞・中日新聞 2021.9.9) 1903年 出版社、下野新聞の主筆な (明治36年)、 新聞、1907年 六・岩波新書 生悠々」井 「抵抗の新聞人 い旧加賀藩 同級生徳田 大阪 . 出 毎日

> 治40年) 批判して、悠々は社説「関東防空大演習を嗤ふ」を発 とした関東一帯で行われた第1回関東地方防空大演習を 明治天皇の大葬時に自殺した乃木希典陸軍大将を批判し には信濃毎日新聞の主筆に就任。 う立場で東京朝日新聞社内で勤務。 た社説「陋習打破論 -- 乃木将軍の殉死」、東京市を中心 大阪朝日新聞に転籍して、 1912年(大正元年)、 大朝通信部詰めとい 1910年 (明治43年)

## 表して信濃毎日を追われる。 -関東防空大演習を嗤ふ」

社説で悠々は、敵機の空襲があったならば木造家屋

0)

多い東京は焦土化すること、被害規模は関東大震災に及 である」「要するに、 帝都の空に迎へ撃つといふことは、我軍の敗北そのもの なり正確に予言した上で、「だから、敵機を関東の空に、 起し有害であること等、12年後の日本各都市の惨状をか どの近代技術の前に意味がないばかりか、パニックを惹 と、灯火管制は暗視装置や測位システム、無人航空機な ぶであろうこと、空襲は何度も繰り返されるであろうこ 航空戦は空撃したものの勝であり

明

#### 編 集後記 を兼ね 7

予定されて 「夢二館」 で

竹下夢二の 生、関係者のみなさまお見舞い申し上げます。 毎号連載していきます。 で閉鎖。 ・延々と続いた緊急事態、 「災難畫信」資料を入手したので、 「災難畫信 展」がコロナ蔓延防止 関東一帯で大地震発

蔓延防止措置。 いた 感

外に出ましょう。 第六波は必至。気を抜かず、 染数が少なくなったとしてすべて解除とな は貴重な一票。 野党共闘もぎくしゃくしてますが、市民に 件の秋です。 自宅で籠もる日が続いた方も、 りましたが、これは賭け。 い、換気などの徹底を。 く前に」総選挙を今月末に実施するという。 「話を聞く力」を宣伝して「国民の声を聞 お気をつけて…。 有効に使うチャンス。 しかしウイルスには好条 ▼秋空が心地 街に人が出れば 手洗い、 運動のため ▼新総理 うが (周

号の準備ですね。 の購読をおすすめします。 鶴彬 を顕彰する会」 購読・3000円です。 の通 38号が終り、 信 「はばたき」 39

#### コロナ渦中で例会は誌上となります。 )投稿FAX (076) 254-0762 |月例会ご案内 「 風 」 3句以内 10月28日(木)◆投稿〆切:25日(月) 連作、 エッセイ、 (毎月第4木曜日) ◆自由吟:5句以内 川柳論などもよろしく。 下段住

メールアドレスは下段に。

発送に協力いただいています。

食育のグリーンノート&土の音工房

《 オカリナ制作

上村

彰

所

同

課題 自選吟、

例会

10

す

関連資料など もお送りします。

和 〒 920-0335 金沢市金石東2丁目 15--30 (3--2) (渡辺 寛)

電話 FAX: 076-254-0762 PC-mail: kananabe@popolo.org 携帯 mail: 090-9445-1302 kan-wata@i.softbank.jp

振込先:北國銀行中央市場支店 #191 普通 640「和川柳社」